

これからはじまる

私は今34歳で、後一ヶ月ちょっとで今年も終わる。

なんだかんだあった34年間で、きっとこれからもなんだかんだある人生だとは思
う。

私は今、窓の外にある冬らしいどんよりとした空を眺めながら、部屋でぼちぼち文
章を打っている。なんでこんなことをしているかというと、単純に暇だからである。

同じ会社にもう何年も何年も勤めていて、気が付いたらこの歳になっていたわけ
だけど、アラサー最後の年ということでこれを機に今までとは違う生活を歩みたく
なってきた。

しかし、私にはこれといった特技がない。趣味はあっても、取り柄にはならない。
どうするかな、と置いていたところ、友人にこう言われた。

「いつもこねくり回してものを考えてるんだから、作家にでもなれば」

すごい、確かに私はいつも物事をあれこれ考えて、友人に話すと「へえ、よく分らない」と言われる。

作家ってなろうと思っただけでなれるもんじゃなくない？とも思ったが、よくよく考えたら私は気持ちを言葉に出すのが苦手故、文章にして頭を整理する癖があった。それは感情をぶつける手段としてでもあり、自分の思いを自分で改めて理解するためもあった。

だけど書いたなら満足で、ある程度分量が溜まったら消去していたので手元には何も残っていない。

よし、別に誰がみてくれるわけでもないけれど、ちゃんと記録として残してみるか。そう思い立って今この文章を書いている。先に書いたように、暇だからやり始めたことなので、これからは暇がある時にしか書かないが、案外暇もいいもんだな、と進み出した新しい人生にわくわくしている。